

## ○種目別開催要項（案）

## 【ターゲット・バードゴルフ交流大会】

## 1 競技規則

大会開催時点での全日本ターゲット・バードゴルフ協会競技規則を適用する。

所属協会により、異なる規則を採用している場合があるため、事前に必ず上記規則を確認した上で参加申し込みをすること。なお、下記にその一部を抜粋する。

- (1) 偶然に動かしても無罰とし、元の位置に戻すこと。
- (2) ショットしたボールがクラブや選手自身・自身の用具に当たっても無罰とする。
- (3) 二度打ちは無罰とする。
- (4) 競技規則による罰打・失格について

## ① 1 打罰

- ア) ティショットの失敗によりボールがティグラウンドに残ったり、フェアウェイに届かなかった場合にティショットをやり直す時
- イ) ボールがOBになった時
- ウ) 誤球した時（ホールアウトしてない場合）
- エ) コース内の樹木、植え込み等にボールが引っかかったり、植え込み等に入ってショットができない時（この場合はホールに近づかない場所からコンパス法式によりプレーする）
- オ) 1 打目のティショットの位置を間違えた時

## ② 2 打罰

- ア) ボールを押したり、かき寄せたり、すくい上げた時
- イ) 誤球してホールアウトした時
- ウ) 2 打目以後にティショット位置の誤りに気づいた時

## ③ 失格

- ア) 提出したスコアが間違っていた時（本人のみ）

## (5) ホールイン

- ① ホールインとは、羽を除く球部で決まる
- ② ホールインの判定はボールの球部を真上から見下ろして行う
- ③ アドバンテージは、ステンレスの枠内にボールが入るか、ステンレス製の枠に球部が真上から見て重なっていればインとする
- ④ セカンドホールは、球部を真上から見て、輪の上に球部の一部分が重なっていればインと見なすが、ストローク数に 1 打プラスとする
- ⑤ アドバンテージホールの判定と処理
  - ア) 旗あるいは旗竿に引っかかっていたらホールインとする（図 1 の㉔）
  - イ) ボールがアドバンテージボールの外側に引っかかった時、球部がアドバンテージ外で、羽根がアドバンテージホールの内側に引っかかった時、1 打プラスしてセカンドホールに入ったこととする。

図 1

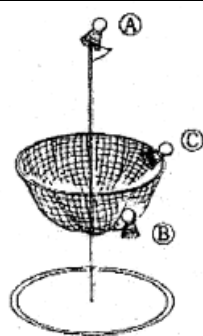
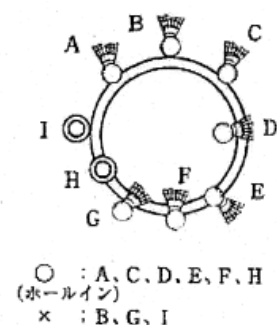
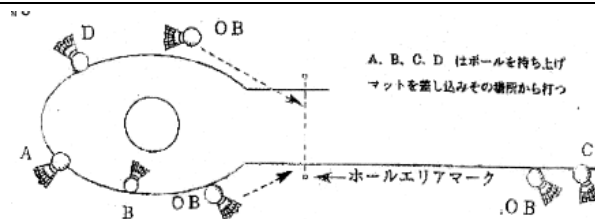


図 2



- ⑥ セカンドホールの判定処理は、図 2 を参照すること
- ⑦ ボールの球部がOBラインの真上から見て少しでも重なっていればインとみなす
- ⑧ ボールエリア内のコースロープ周辺のボールの取扱い  
ボールを少し持ち上げショットマットをすべて差し込む方式で処理する（図 3 参照）

図 3



## 2 競技方法

- (1) 個人戦は年齢区分（参加申込書に記載の年齢を基準とする）及び性別により、4ブロックに分け競技する。組の編成は、主催者及び主管団体が行う。
- (2) ダブルス戦は「男性ダブルス」、「女性ダブルス」、「男女混合ダブルス」の3ブロックに分け競技する。組の編成は、主催者及び主管団体が行う。なお、参加申し込み数によってはブロックを設けないこともある。この場合、申し込みとは異なるブロックに参加することとし、参加ブロックの振り分けは主催者及び主管団体が行う。（オープン参加扱いかつ表彰対象外とする。）
- (3) 1チームの人数が1名や3名の場合でダブルス戦におけるペアを組む相手が居ない場合はオープン参加扱いとし、他チームの同様の者とペアを組みダブルス戦に参加することとするが、表彰対象外とする。この場合の組み合わせは、主催者及び主管団体で行う。
- (4) 試合方法は個人戦・ダブルス戦（ツーボール・フォアサム）ともに、コース競技とし、アウトコース9ホール（パー36）、インコース9ホール（パー36）、計18ホール（パー72）のストロークプレーとする。
- (5) ティショットの位置は、一般男子は白色、シニア男子及び女性は青色ティマークで示す。ダブルス戦においても同様とする。
- (6) 順位の決定にあたり同スコアの場合は、年齢（ダブルス戦は合計年齢）の高い順に上位とする。
- (7) 審判は、セルフジャッジ方式とする。

## 3 大会規定

- (1) 参加者の年齢は、60歳以上（1962（昭和37）年4月1日以前に生まれた人）とする。
- (2) 参加者は競技規則を理解している者とする。
- (3) 使用クラブは、全日本ターゲット・バードゴルフ協会、一般社団法人日本ターゲット・バードゴルフ協会公認のクラブ、または一般ゴルフ用ピッチングウェッジクラブ1本のみを用いることとし、改造されたとみなされるものは使用できない。
- (4) クラブ、ショットマットは（改造されたとみなされるものは使用できない。なお、白線の無いものの使用は可）及びシューズ（スパイクシューズ禁止）は、参加者が持参するものとする。
- (5) ゼッケン及びボール（個人戦・ダブルス戦）は主催者が用意したものを使用する。
- (6) 雨天決行とするので、雨具、防寒用具を持参するものとする。競技が実施不可能な場合は主催者が判断し、対応について連絡する。